

学校施設における木材使用の促進に関する概算要求について

【文部科学省における支援】

○令和6年度概算要求においては、公立学校施設の整備について、木材利用の促進を含む所要額（2,097億円＋事項要求）を計上（別紙）。

○木造校舎の整備や内装の木質化に対する国庫補助

- ・ 新增築：1／2（原則）
- ・ 改築、大規模改造：1／3（原則）

- ▶ 脱炭素社会の実現に資するため、令和4年度より学校施設の内装木質化を標準化
- ▶ 地域材を活用して木造施設を整備する場合、補助単価を5.0%加算

等

令和5年9月20日（水）
文部科学省

公立学校施設の整備

新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現～Schools for the Future～

令和6年度要求・要望額 2,097億円
+ 事項要求 687億円
(前年度予算額)



背景

- 学校施設の老朽化がピークを迎える中、子供たちの多様なニーズに応じた**教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備**が必要。
- 中長期的な将来推計を踏まえ、**首長部局との横断的な協働**を図りながら、**トータルコストの縮減**に向けて**計画的・効率的な施設整備**を推進。
- 2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、**脱炭素社会の実現**に貢献する持続可能な教育環境の整備を推進。

① 新時代の学びに対応した教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の推進

- 学校施設の長寿命化を図る老朽化対策
- バリアフリー化、特別支援学校の整備
- 他施設との複合化・共用化・集約化

② 防災・減災、国土強靱化の推進

- 非構造部材の耐震対策等
- 避難所としての防災機能強化
- 空調設置、洋式化を含めたトイレ改修等

③ 脱炭素化の推進

- 学校施設のZEB化
(高断熱化、LED照明、高効率空調、太陽光発電等)
- 木材利用の促進 (木造、内装木質化)

老朽化対策と一体で多様な学習活動に対応できる多目的な空間を整備



他施設との複合化により学習環境を多機能化しつつ、効率的に整備



激甚化・頻発化する災害への対応



台風で屋根が消失した体育館

避難所としての防災機能強化



バリアフリートイレの整備

1
新しい時代の
学校施設

公立学校施設
の整備

2

国土強靱化

3

脱炭素化

柱や内装に木材を活用し、温かみのある学習環境や脱炭素化を実現



具体的な支援策

制度改正

学びの多様化学校 (いわゆる不登校特例校) や夜間中学として小中学校等を設置する自治体に対する施設整備に係る**支援の拡充** (廃校や余裕教室等の既存施設を改修して活用する場合における新しい支援メニューの創設: **補助率 1/2**)

単価改定

物価変動の反映や標準仕様の見直し等による増
対前年度比 +19.4%
小中学校校舎 (鉄筋コンクリート造) の場合
R5:268,300円/㎡ ⇒ R6:320,400円/㎡

(担当：大臣官房文教施設企画・防災部施設助成課)